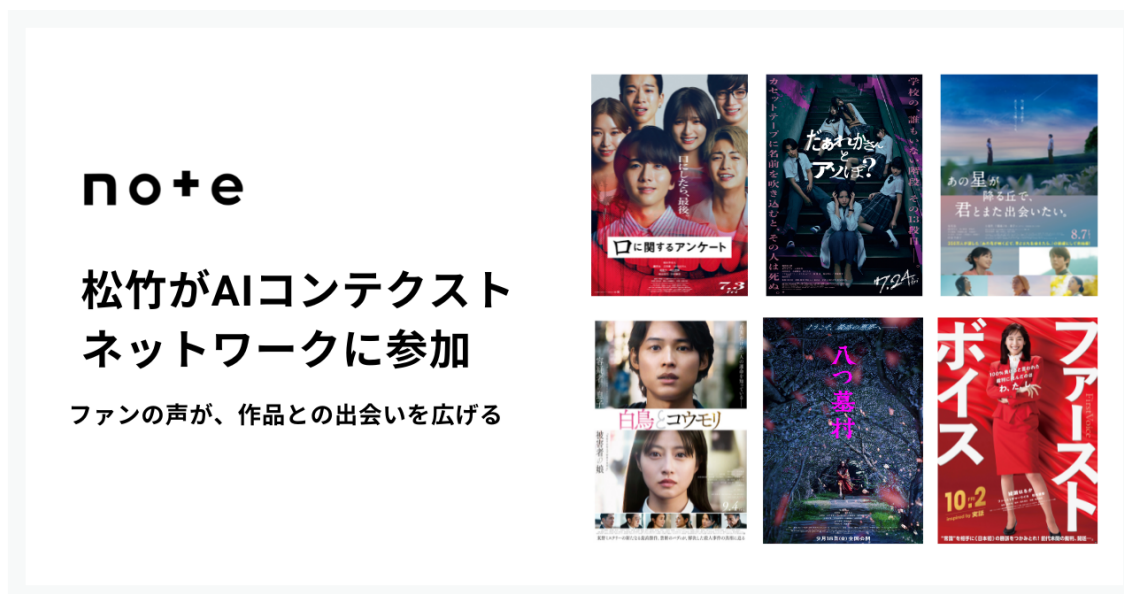


映画会社初、松竹がnoteのAIコンテキストネットワークに参加 注目の新作邦画のファンの声と公式情報を集約

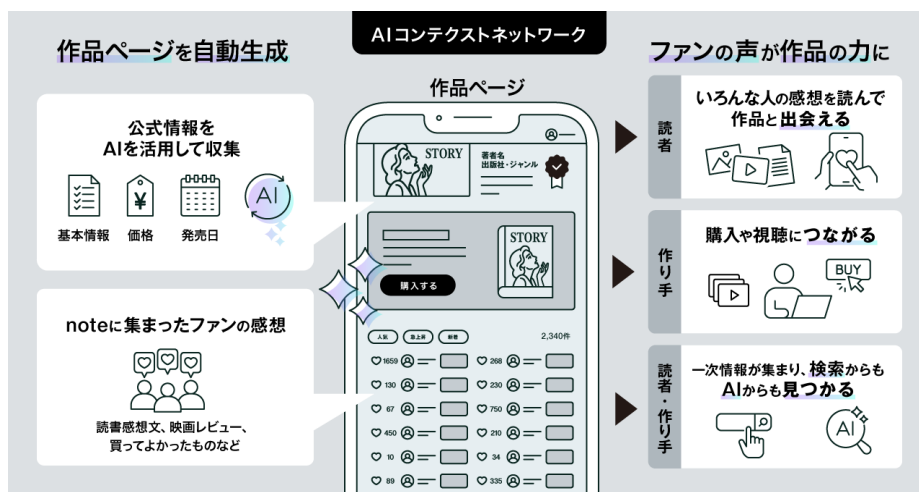


松竹株式会社が、作品ごとにファンの感想と公式情報を集約するnoteの仕組み「AIコンテキストネットワーク」に参加しました。映画会社としては初の参加です。全国公開中の『口に関するアンケート』をはじめ、今後公開となる『だあれかさんとアソボ?』『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』『白鳥とコウモリ』『八つ墓村』『ファーストボイス』など、松竹の新作邦画が対象です。各作品のnoteにおける感想・レビュー記事と公式情報を、作品ページごとにまとめます。記事を読んで興味を持った読者はそのまま鑑賞チケットの購入に進めます。作り手にとっては、作品と新しい観客との出会いが広がる場です。

作品ページ例：<https://note.com/hashtag/口に関するアンケート>

AIコンテキストネットワークとは

作品・商品ごとに、ファンの感想と公式情報が集まるページをAIを活用して自動で生成する仕組みです。現在は書籍・映像・ゲーム作品に対応しており、今後あらゆるカテゴリに拡大予定です。noteでは「#読書感想文」「#映画感想文」をはじめとする公式の投稿企画を約150件実施しており、寄せられた感想・レビュー記事は累計約200万件にのぼります。



作品ページを訪れた読者は、いろんな人の感想を読んで次の作品と出会えます。作り手にとっては、ファンの声が購入や視聴の後押しになります。一次情報が集まることで、検索からもAIからも見つけやすくなります。ファンの声が作品の力になる。AIコンテキストネットワークは、その循環を生み出す仕組みです。

松竹映画 × note

松竹映画はnote上で[公式アカウント](#)を運営しており、新作映画の情報や感想の投稿呼びかけを行ってきました。noteのクリエイターを試写会に招待する取り組みも定期的を実施しています。noteでは、鑑賞直後の興奮を書きとめたり、伏線をよみといて考察をしたり、原作小説との違いを比較したり、1本の映画からさまざまな切り口の記事が生まれる文化が根づいています。こうした記事が公開前の期待感を高め、上映期間中の話題をさらに盛り上げてきました。

7月公開の映画から順次、作品ページにスペシャルバナーを設置して、公開に向けて盛り上げていきます。

- 『[口に関するアンケート](#)』（全国公開中）
- 『[だあれかさんとアソぼ?](#)』（2026年7月24日公開）
- 『[あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。](#)』（2026年8月7日公開）
- 『[白鳥とコウモリ](#)』（2026年9月4日公開）
- 『[八つ墓村](#)』（2026年9月18日公開）
- 『ファーストボイス』（2026年10月2日公開）

note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約8209万件の作品が誕生。会員数は1248万人（2026年5月末時点）に達しています。

- URL：<https://note.com/>
- iOSアプリ：<https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Androidアプリ：<https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアで店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2 設立日：2011年12月8日

代表取締役CEO：加藤貞顕 コーポレートサイト：<https://note.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

note株式会社 IRお問い合わせ窓口：<https://ir.note.jp/inquiry>